

はじめに

本市では、平成 21（2009）年 3 月に「佐野市都市計画マスタープラン」を策定し、テーマである「豊かな交流文化を育む 拠点都市 佐野」の実現に向け、まちづくりを推進してまいりました。

その間、本市を取りまく社会環境は変化し、急速に進行している人口減少や少子高齢化、地方創生時代の到来、全国各地で頻発する災害による安全・安心に対する不安意識の高まりなど、対応すべき課題も大きく変化してきております。

このような情勢に対応すべく、平成 30（2018）年 3 月に「第 2 次佐野市総合計画」を策定し、「水と緑にあふれる北関東のどまん中 支え合い、人と地域が輝く交流拠点都市」を本市の将来像に掲げ、将来にわたって活力と魅力ある佐野市をつくり、持続していくため、様々な施策や事業に取り組んでおります。

都市計画マスタープランにつきましても、第 2 次総合計画の策定に合わせてこれまでの成果や実績を十分に検証し、この度、「豊かな資源と人が育む 交流都市 佐野」を新たなテーマとして、長期的なビジョンでの都市形成の骨格となる「第 2 次佐野市都市計画マスタープラン」を策定いたしました。

本市は、市内に東北自動車道・北関東自動車道の高速道路網を有し、さらに 4 箇所目となるインターチェンジの設置が予定されるなど、交通の要衝であるとともに、豊かな自然環境や多くの歴史・文化遺産、住みやすい居住環境を有しております。これらの恵まれた資源を十分に連携させ活用するため、本マスタープランでは「拠点連結（いもフライ）型都市構造」の構築を方針として掲げ、地域の個性を生かした特色ある発展を目指していきたいと考えております。

結びに、本マスタープランの策定に際し、ご意見、ご提言をいただきました多くの市民の皆様、市議会、策定懇談会、都市計画審議会をはじめ、関係者の皆様に心から感謝とお礼を申し上げますとともに、本市のまちづくりへのより一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



平成 31（2019）年 3 月

佐野市長 岡部 正英